

# 未来会議だより

令和4年11月1日発行

発行 栄東地区まちづくり未来会議

(Tel.711-2203)

栄東地区まちづくり未来会議 検索



--令和4年10月9日(日)--

## 可愛らしい動物に弾ける笑顔 😊 ひのまる公園移動動物園



▲動物たちとの触れ合いに嬉しそうなお子たち。ニシキヘビを肩に乗せる勇者も！

この日、ひのまる公園で移動動物園が開催され、保護者などを含めて638名の方々が来場されました。今回で3回目になるこのイベントは、新型コロナ禍で何とか子どもたちを笑顔にしたいと3年前から青少年育成委員会を始め、今年、栄東地区まちづくり未来会議が開催を引き継いだものです。

展示した動物は、ウサギ・モルモット・ヤギ・マーラ・アヒル・リクガメ・ニシキヘビ・トカゲ・サソリ・ハリネズミ・ミーアキャット・ハリスホーク・フクロウなどの全15種類。特に人気は、ニシキヘビを肩に乗せての記念撮影です。おっかなびっくりの表情で顔がちょっと引きつりな

がらも、溢れる好奇心で刺激的な体験も楽しんでいました。

運営に従事したのは、連合町内会や単位町内会の役員・青少年育成委員・交通安全指導員・交通安全母の会・交通安全協会・地域安全活動推進委員・中学生ボランティア(栄中1年生、栄南中1年生が2名、栄町中1年生と3年生が各1名)など総勢41名です。今回、初めて中学生のボランティアにご協力いただき、小さなお子さんたちの見守りなど一生懸命従事していただきました。地域イベントは担い手不足が課題とされていますが、若い世代から高齢者まで、担い手は大勢いることを示した事例と言えましょう。

公園周辺の横断歩道では、交通関係団体の方々が子どもたちの安全な横断をサポートするなど、地域の皆さんの優しい目で子どもたちを見守っていました。栄東地区総力で取り組んだイベントですが、従事者の皆さんにとっても、子どもたちの弾けるような笑顔に大満足の1日でした。



▲早朝より準備を行い、会場周辺では子どもたちの見守りを行うなどボランティアの方々の力で安全で楽しいイベント開催となった



--令和4年10月2日(日)--

## 栄町小で本番さながら 避難所運営訓練を実施



▲設営の役割分担をし、備蓄物資の運搬や避難住民の受け入れ、新型コロナウイルスを考慮した避難スペースの区画をスムーズに行った

栄東連合町内会は、栄町小学校で実戦さながらの避難所運営訓練を実施しました。これは北海道胆振東部地震の教訓を踏まえて、万が一の時に地域が主体的に避難所を開き、円滑な運営ができるようにすることを目的に行ったものです。

この日、東区で震度6弱の地震が発生したという想定で、LINEなどによって訓練通報を実施。市職員だけに頼らず、地域が主体となって同小に避難所を開設する訓練を行いました。避難所開設の役割にあたった第1分区の町内会及び同小PTAの役員24

名が、体育館の開錠から、受付や避難スペースの設置、備蓄物資の運搬までを行い、迅速に避難住民の受け入れ準備を行いました。

その後、避難住民役にあたった約70名の町内会役員が避難所に訪れ、受付での手指消毒と検温によって一般避難者と感染の恐れのある避難者に区分するシミュレーションをした後、家族の人数に応じて避難スペースに誘導します。その後、体育館で避難スペースの広さ、備蓄物資の寝袋や毛布の実物の確認、備蓄物資の運搬時の重さの体感に加え、校舎内に配置された高齢者や妊産婦の避難スペース、冬季の採暖室、トイレなどの位置確認と説明を受け、避難生活の大変さを実感しました。

訓練の最後に、東消防署の鈴木隆・予防課長から講評をいただき、参加者への備蓄物資と防災グッズの配布で訓練を締めくくりました。栄東連合町内会の中谷・防火防犯部長は、「今後、参加者のアンケート結果を踏まえて訓練内容を改善し、熟度をあげていきたい」と話しました。

誰もが災害は起きて欲しくないと思っています。しかし、大災害は毎年やってくる時代です。“備えあれば憂いなし”です。栄東地区の安全安心な暮らしを守るため、栄東連合町内会では、毎年、こうした実践的な訓練を実施していくとしています。

--令和4年10月12日(水)--

## 故人の遺志を継承



### 交通安全たまねぎキャンペーン

地下鉄栄町駅交差点で道行くドライバーや歩行者に東区特産のたまねぎを配布しながら交通安全を呼びかける「交通安全たまねぎキャンペーン」が開催されました。昭和61年から続く栄東地区の伝統行事です。

創設されたのは、今年4月に亡くなられた故・氏家謹一様(創設当初の連合町内会交通部長)で、開始当初から配布するたまねぎの寄贈が続けられていました。今年は、その遺志を受け継がれたお孫さんの氏家正喜様からご寄贈を受けて実施されました。

参加したのは、連合町内会や単位町内会、交通関係団体の役員など約50名です。故人の交通安全に対する並々ならぬ思いを受けて、追悼の意味も込め



▲午前中に連町役員が袋詰めしたたまねぎを、栄町交差点でドライバーや歩行者に配布しながら交通安全を呼びかける様子

ながら、皆さんより一層力を込めて交通安全を呼びかけていました。

用意したたまねぎ約600袋を配り終えた後、続けて日の丸会館で交通安全教室が開かれました。東警察署より区内での交通事故発生状況や自転車利用時のヘルメット着用の重要性についての講話がありました。栄東地区の伝統あるこの行事は、今後も絶えることなく、続いていくことでしょう。